

JISA/ASOCIO Digital Masters Summit 2018 開催報告

アジア・オセアニアの 24 カ国・地域の ICT 業界団体が加盟する Asia Oceania Computing Industry Organization (ASOCIO) の年次総会およびサミットが、12 年ぶりに JISA がホストとなって 2018 年 11 月 7－8 日に ANA インターコンチネンタルホテル東京で開催された。

国内より 628 名、海外 13 カ国・207 名の参加者を含め、計 835 名が参加した。

11 月 7 日（水）

<ASOCIO 年次総会>

午前 9 時より、ASOCIO 年次総会が行われ、各国メンバー協会の代表者約 40 名が参加した。JISA からは、ASOCIO 副会長である浜野一典 副会長・グローバルビジネス拡大委員長、小脇一朗 副会長・専務理事、伊藤整一 理事・グローバルビジネス拡大委員会副委員長他が参加した。

会議では、今年の活動報告、収支状況の報告、来年の予算および活動予定について報告があった。また、ASOCIO 役員の改選が行われ、2019－2020 年の ASOCIO 会長は、今期に引き続きマレーシアの協会 PIKOM より David Wong 氏が選出された。JISA 浜野副会長・グローバルビジネス拡大委員長も、今期に引き続き、ASOCIO 副会長に選出された。



<ASOCIO 2018 CBPR セミナー>

午後 3 時から、「アジア・オセアニア地域の安全で円滑な個人情報の移転と活用」と題し、JISA パブリックポリシー部会主催の CBPR セミナーを開催。基調講演では、経済産業省商務情報政策局情報政策企画調整官 遠山敬彦氏と（一社）日本情報経済社会推進協会常任理事 坂下哲也氏から、APEC CBPR につい

て、その概要と意義および日本としての取り組みについて説明があった。その後、**ASOCIO** メンバー協会からのパネリストも交え、世界中でプライバシー保護の重要性が高まる中、**ASOCIO** メンバー各国における法制度の状況と課題、またその課題に対し、**CBPR** の果たす役割について、パネルディスカッションを行った。



< ウェルカム・レセプション >

午後6時から**ASOCIO 2018** ウェルカム・レセプションが行われた。海外参加者を中心に約 250 名が参加。**ASOCIO 2018** 実行委員長である **JISA** 浜野副会長・グローバルビジネス拡大委員長と **ASOCIO David Wong** 会長の挨拶の後、**JISA** 横塚裕志会長とベトナム情報通信省フン副大臣も加わって、日本酒樽で鏡開きを行った。会場では、升で日本酒が振る舞われたほか、呈茶コーナーでの抹茶と和菓子の提供や阿波踊りも披露され、日本食と共に日本の文化を海外の参加者に堪能してもらった。



鏡開き



阿波踊り



呈茶

11月8日（木）

<開会式・基調講演>

午前9時、ライゾマティックスによる、AIが見た渋谷の地下に広がる世界を人間が理解できるように変換したオープニング映像で開会した。

JISA 横塚 裕志 会長および ASOCIO デイビッド・ウォン会長による開会挨拶に続き、経済産業省 関 芳弘 副大臣が来賓挨拶を行った。

引き続き、ピクシーダストテクノロジーズ（株）代表取締役 CEO/共同創業者の落合 陽一氏より、「xDiversity：多様性社会に向けた AI 応用」と題して基調講演が行われた。高齢者や障害者をサポートするために AI がどのような役割を果たせるかについて、実際に大学で行っている実験の様子などを交えて話があった。

続いて、（株）小松製作所 取締役会長の野路 國夫 氏より「コマツのイノベーション戦略」と題し、コマツのグローバル戦略、スマートコンストラクション、オープンイノベーションと産学共同研究などについて紹介があった。



ASOCIO David Wong 会長と JISA 横塚会長



経済産業省 関 副大臣

<大臣セッション、パネルディスカッション>



ベトナム情報通信省フン副大臣

コーヒブレイクをはさみ、ベトナム情報通信省 グエン・タン・フン副大臣より講演が行われた。フン副大臣は、ベトナム政府の電子政府、ICT 人材育成、デジタル・トランスフォーメーションなどに関する取り組みと政策について紹介し、今後も日本および ASOCIO 各国と協力して、デジタルビジネスの推進に取り組んでいきたいと述べた。

次に、パネルディスカッションでは、「**Connected**」を語ろう」と題し、(株)シーエーシー 未来企画本部 理事 大須賀 正之 氏がモデレータとして登壇。

パネリストの九州大学大学院 システム情報科学研究院 准教授 のアシル・アハメッド氏からは **AI** を使った **eHealth** のプロジェクトについての紹介、また、二人目のパネリストである **Adam Innovations** (株) 代表取締役のカウシャル・ワウラガラ氏からは、同社が新潟県南魚沼市で手がける南魚沼グローバル IT パークでの取り組みの紹介があり、新しいテクノロジーをどのようにして実際のビジネスにつなげるか、についての説明があった。最後のパネリストである北京明月軟件技術有限公司 副総裁の張 魯川氏からは、**IoT** や **SNS** を使って北京における駐車場を有効活用するための画期的なアプリケーションの紹介があった。



パネルディスカッション
モデレータ：大須賀氏



パネルディスカッション
アシルアハメッド氏、カウシャルワウラガラ氏、張氏

<VIP ランチ>

一般のランチとは別室において行われた **VIP** ランチには、前総務大臣の野田聖子衆議院議員が来訪し、冒頭で挨拶を行った。

その後、主要な参加者およびスポンサー企業の紹介が行われた。

<分科会：企業セッション・JDMF セッション>

午後は 4 部屋に分かれてスポンサー企業 12 社によるセッションと **JDMF** セッションが行われた。

JDMF セッションでは、**JISA** アワード 2018 受賞者である 3 社の受賞内容の紹介が行われた。

そのほか、(公財)日本スケート連盟スピードスケート強化部委員の紅樫 英信氏からは、「日本の組織力・化学力で勝利したスピードスケート 女子チームパ

シュート」と題して日本女子が IT を活用して金メダルを獲得した経緯について、また（株）スクウェア・エニックス テクノロジー推進部 リード AI リサーチャーの三宅 陽一郎氏からは、「デジタルゲームにおける人工知能の可能性」と題し、今後のデジタルゲームの開発における AI の果たす役割について紹介があった。

<カクテル・ガラディナー>

午後 6 時から、立食のカクテル・レセプションが行われ、続いて午後 7 時から約 300 名が参加してガラディナーが行われた。

ガラディナーの冒頭では、神楽坂の芸者さん達が華麗な日本舞踊を披露したほか、人間国宝の鶴賀若狭掾氏が新内を唄った。

ガラディナーの最後には、ASOCIO Award 2018 の表彰式が行われ、ベンダー部門、ユーザー部門、公的機関部門、教育部門の 4 つのカテゴリーに、9 カ国より 31 団体が表彰された。JISA から推薦した、JIP テクノサイエンス、キヤノン（中国）、JAXA、青翔開智中学校・高等学校もそれぞれ受賞した。



東京神楽坂組合

JISA からの ASOCIO Award 受賞者



ASOCIO ICT Company Award :
JIP テクノサイエンス



ASOCIO User Organization Award:
キヤノン（中国）



ASOCIO Government Award:
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



ASOCIO Education Award:
青翔開智中学校・高等学校

11 月 9－10 日

＜石和温泉 1 泊ツアー＞

海外からの参加者の要望で、1 泊 2 日で石和温泉ツアーを行った。海外参加者 85 名が参加し、9 日には山梨県リニア見学センターを訪問したほか、10 日には、甲州ワインのワイナリーと和菓子ファクトリーを訪問した後、帰京した。

以上